

[発行番号] SV-D-0001
 [表 題] MR Configurator2 パラメータ設定範囲更新機能の利用方法
 [発 行] 2019年1月
 [適用機種] MR Configurator2

三菱電機ACサーボ製品に格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
 本テクニカルニュースでは、汎用サーボセットアップソフトウェア MELSOFT MR Configurator2に搭載されているパラメータ設定範囲更新機能の利用方法をご紹介します。

1 概要

パソコンにインストールされたMR Configurator2のパラメータとサーボアンプのパラメータで設定範囲が異なる場合、パソコンに接続したサーボアンプからパラメータの設定範囲を取得し、MR Configurator2に登録されているサーボアンプの機種情報を更新することが可能です。

サーボアンプのパラメータ設定範囲が拡張されたことにより、MR Configurator2でパラメータが設定できない場合に本機能をご利用ください。

[パラメータ設定範囲更新結果の例]

No.	略称	名称	単位	設定範囲	軸1
PE44		メーカ設定用		0000-0000	0000
PE45		メーカ設定用		0000-0000	0000
PE46		メーカ設定用		0000-0000	0000
PE47		メーカ設定用		0000-0000	0000
PE48		メーカ設定用		0000-0000	0000
PE49		メーカ設定用		0000-0000	0000
PE50		メーカ設定用		0000-0000	0000

パラメータ設定範囲更新前



No.	略称	名称	単位	設定範囲	軸1
PE44		メーカ設定用		0-30000	0
PE45		メーカ設定用		0-30000	0
PE46		メーカ設定用		0-30000	0
PE47		メーカ設定用		-10000-10000	0
PE48		メーカ設定用		0000-0011	0000
PE49		メーカ設定用		0-30000	0
PE50		メーカ設定用		0-65535	0

パラメータ設定範囲更新後

パラメータ設定範囲更新機能には他にも便利な機能がありますが、その他の機能につきましてはMR Configurator2のヘルプを参照ください。

[ヘルプ掲載箇所]

「ヘルプ」メニューの「MR Configurator2 ヘルプ」を選択後、
 「機能一覧」－「MR Configurator2の便利な機能（ツール）」－「パラメータ設定範囲更新」

2 パラメータ設定範囲更新の手順

パラメータ設定範囲更新には以下の二種類の方法があります。

(1) パラメータ情報を変更する

接続中のサーボアンプから最新のパラメータ設定範囲を取得し、MR Configurator2の既存の機種情報のパラメータ設定範囲を、取得したパラメータ設定範囲で更新します。

(2) パラメータ情報を新規追加する

接続中のサーボアンプから最新のパラメータ設定範囲を取得し、MR Configurator2へ新たに機種情報を登録します。

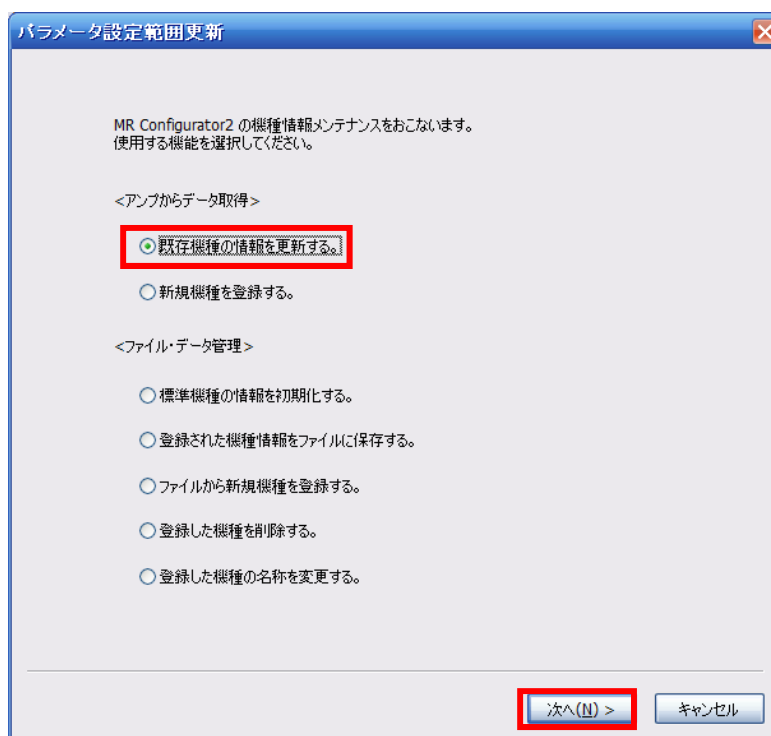
2.1. パラメータ情報を更新する場合

(1) 既にパラメータを設定している場合は、一度プロジェクトファイルに保存しておきます。

(2) MR Configurator2を起動後、対象のサーボアンプ機種のプロジェクトを作成し、オンラインにします。

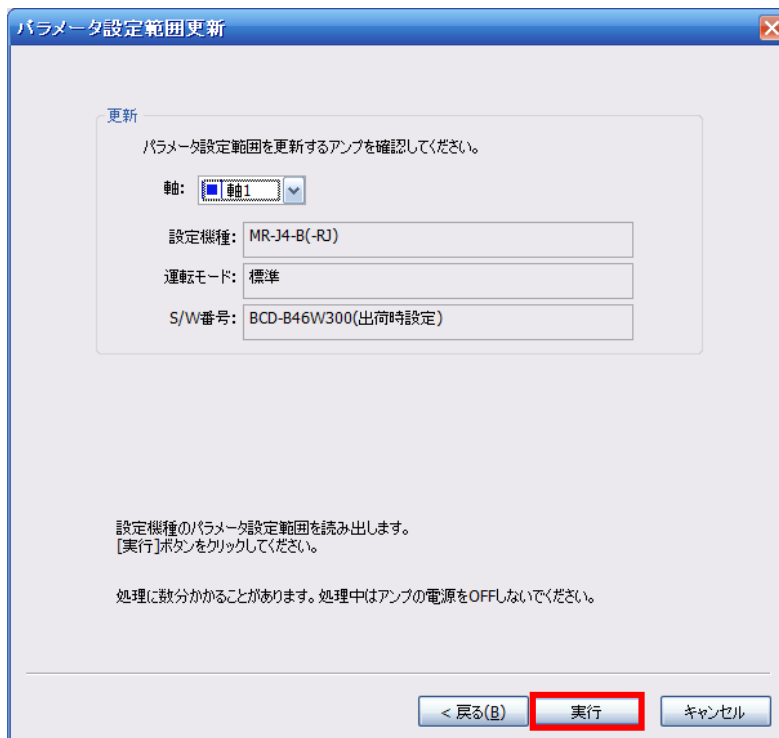
(3) メニュー[ツール]から[パラメータ設定範囲更新]を選択します。

(4) パラメータ設定範囲更新画面において、[既存機種の情報を更新する]を選択し、[次へ]をクリックします。

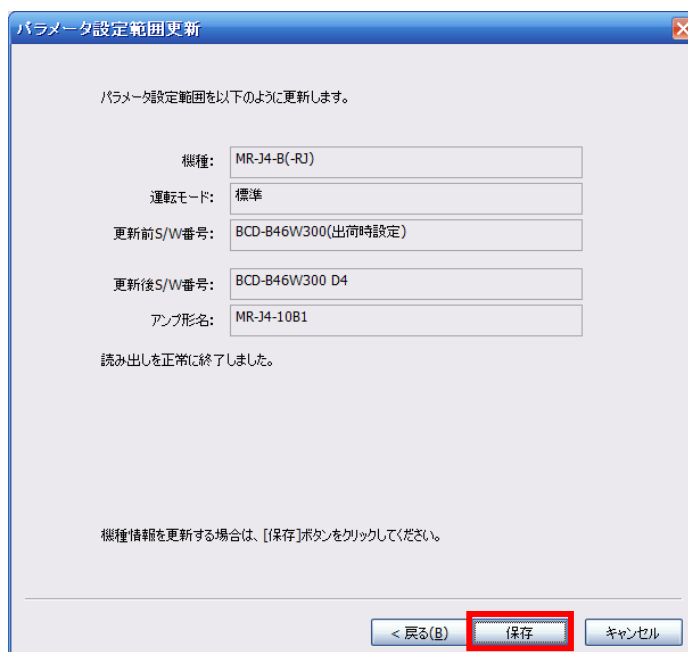


[発行番号] SV-D-0001

- (5) 現在開いているプロジェクトと接続しているサーボアンプで、サーボアンプ機種(例：MR-J4-B)と運転モードが一致していることを確認し、[実行]をクリックします。



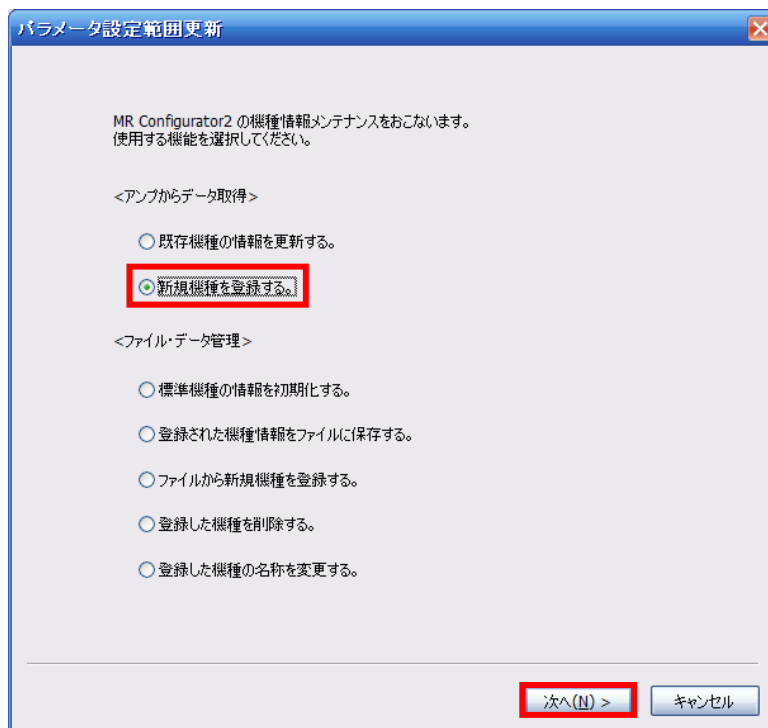
- (6) 範囲更新結果を確認し、[保存]をクリックします。
※一度実施することで機種情報が更新されるので、次回からは本機能を使用する必要はありません。



- (7) 完了画面において[終了]をクリックし更新機能を終了します。
(8) 次回、範囲更新を行ったサーボアンプ機種・運転モードのプロジェクトを立ち上げると、更新されたパラメータ設定範囲でのパラメータ編集・設定が可能となります。

2.2. パラメータ情報を新規追加する場合

- (1) MR Configurator2を起動後、対象のサーボアンプ機種種のプロジェクトを作成し、オンラインにします。
- (2) メニュー[ツール]から[パラメータ設定範囲更新]を選択します。
- (3) パラメータ設定範囲更新画面において、[新規機種を登録する]を選択し、[次へ]をクリックします。



[発行番号] SV-D-0001

- (4) 現在開いているプロジェクトと接続しているサーボアンプで、サーボアンプ機種と運転モードが一致していることを確認し、[新規名称]欄に新規に登録するサーボアンプの名称を設定し、[実行]をクリックします。

パラメータ設定範囲更新

流用元機種

パラメータ設定範囲を新規に登録するアンプを確認してください。

軸: 軸1

設定機種: MR-J4-B(-RJ)

運転モード: 標準

S/W番号: BCD-B46W300(出荷時設定)

新規追加

新規に登録するアンプの名称を入力してください。
(半角英数字と“-”の組み合わせで最大16文字まで入力可能)

新規名称: MR-J4-B-XXXX

新規に登録するアンプのパラメータ設定範囲を読み出します。
[実行]ボタンをクリックしてください。

処理に数分かかることがあります。処理中はアンプの電源をOFFしないでください。

< 戻る(B) 実行 キャンセル

- (5) 範囲更新結果を確認し、[保存]をクリックします。

※一度実施することで機種情報が保存されるので、次回からは本機能を使用する必要はありません。

パラメータ設定範囲更新

パラメータ設定範囲を以下のように新規追加します。

新規機種名称: MR-J4-B-XXXX

運転モード: 標準

新規S/W番号: BCD-B46W300 D4

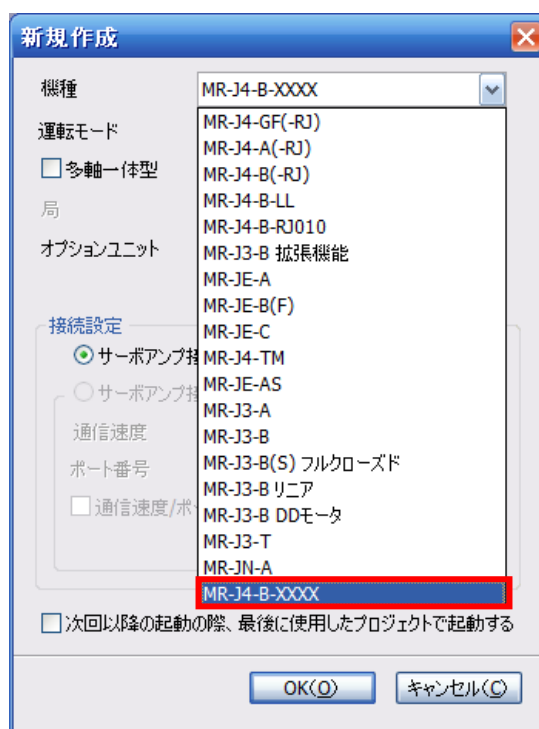
アンプ形名: MR-J4-10B1

読み出しを正常に終了しました。
新規機種名称「MR-J4-B-XXXX」で保存します。

機種情報を新規追加する場合は、[保存]ボタンをクリックしてください。

< 戻る(B) 保存 キャンセル

- (6) 完了画面において[終了]をクリックし更新機能を終了します。
- (7) 次回、プロジェクト新規作成を行うと、機種一覧の中に新しく登録した機種が表示されます。その機種を選択して起動すると、更新されたパラメータ設定範囲でのパラメータ編集・設定が可能となります。



3 注意事項

- MR-J4-Aは、ソフトウェアバージョンA3以降のサーボアンプから対応しています。
- 他機能の画面を表示中は、本機能画面を起動することはできません。ただし、プロジェクトのみ開いた状態では本機能画面を起動することができます。
- MR Configurator2が複数起動している場合、本機能画面を起動することはできません。
- プロジェクトで使用中の機種を削除したり、機種名称を変更したりすることはできません。また、MR Configurator2を直接起動した場合、システム設定で選択されている機種を削除したり、機種名称を変更したりすることはできません。
- 本機能はMR Configurator2とサーボアンプを直接USBケーブルで接続した場合にのみ有効となります。
- パラメータ設定範囲をサーボアンプから取得したことにより、MR Configurator2に登録されるパラメータ初期値が、範囲外あるいは異常値となる場合があります。また、その機種データを使用し、[パラメータ設定]画面で初期設定を行うと、範囲外あるいは異常値となったパラメータは赤色表示されます。
- 新規名称として入力できる文字数は、半角英数字記号で64文字までです。ただし、“-”以外の記号は使用できません。
- 既にMR Configurator2に登録されている名称については、新規名称として使用できません。
- MR Configurator2へ登録できる機種データ数は、デフォルト機種を除き最大64機種です。
最大機種数を超える場合は「登録した機種を削除する」機能で不要な機種を削除するなどしてご使用ください。
- 登録機種数が増えると、MR Configurator2の起動時間が遅くなります。
- メーカー設定用パラメータについては、原則、設定値を変更しないようにお願いします。予期せぬ動作が発生する恐れがあります。技術資料集を参考に設定を行ってください。

改訂履歴

副番	発行年月	改訂内容
-	2019年1月	初版発行